

おめでとう

## 春を呼ぶ花、多くの観光客を魅了

広田梅林ふれあい公園で「梅まつり」

梅の名所で知られる広田梅林ふれあい公園で、三月中旬



▲開花を喜ぶ緑地区老人クラブの皆さん

に見ごろを迎え、多くの観光客らで賑わいました。

広田梅林は昨年十一月に、一万四千平方メートルが拡張され、四百五十本の梅の木が植えられています。

南あわじ市観光協会では「梅まつり」と描かれたのぼり五十本を作成。三月四日には、同公園の管理を受託している緑地区老人クラブ（廣地宏会長）役員らがのぼりを公園内や付近の道路沿いに取り付けました。同役員らは、年

間を通じて、梅の木を週一回は必ず手入れしてきたこともあり、開花の喜びはひとしお。廣地会長は「広田梅林は先代から継承し続けている地元のシンボルの存在。春を呼ぶ花として、多くの皆さんに楽しんでほしい」と話していました。



▲広田梅林の梅の花

## 勇敢な行動で人命救助

沼島の2人にのじぎく賞

出漁中に誤って海に転落した男性を救助した畠田源太郎さん（沼島）、田村寅雄さん（同）に二月二十七日、兵庫県のはじぎく賞が南あわじ市沼島出張所で伝達されました。二人は二月一日の午後一時ごろ、沼島沖で漁の帰り支度中に男性が倒れるのを発見。

起き上がる気配が無かったため二隻で急行、海中に転落し自船につかまっていた男性を協力して救助しました。冬場の荒天、強風と極寒の海上での海難事故。二人の機敏な行動と協力が危険にさらされた尊い人命を救いました。



▲蟬塚沼島出張所長（右）から伝達を受ける畠田さん（中央）と田村さん

## 慶野松原で清掃活動

御原中学校1年生



▲松葉を集める中学生

四十年以上生徒会を中心と

して松原海岸で漂着ごみの清掃活動を続けている御原中学校では三月七日、一年生八十一人が落ち葉を集める清掃活動を行いました。

今回の活動は昨年の十二月に続き二回目で、松原で清掃活動や保全に取り組む「慶野松原を美しくする会」（岡本務会長）らと一緒に松葉や苔を集めました。

同校の一年生は、総合学習の時間を利用した環境教育として、美しくする会や淡路景

観園芸学校から、清掃の方法や松原の松くい虫被害の状況を学んでいます。生徒らも松の種を播き、卒業前には松原に植える予定で生育状況を観察しながら育てています。

この日は交通公園付近で約一時間活動し、砂浜に直接日当たりの松林の落ち葉などを取り除きました。

指導にあたった、美しくする会の副会長の久代勝さんは「中学生が活動に参加してくれて嬉しい。松原を守っていく活動を子どもたちに伝えていきたい」と話していました。

## 淡路瓦の耐風性能試験機を導入

淡路瓦工業組合

す。

淡路瓦工業組合（福原幸蔵理事長、百四十六社）は瓦屋根の耐風性能を試験する「瓦引き上げ性能試験機」を導入し二月二十四日、組合員ら約四十人が見守るなか同組合で試験機が行われました。

試験機は実際の施工法で葺いた屋根瓦の中央にフックを取り付け、圧縮空気によって均一な力で百五十回引き上げ、加圧する力をグラフで示して耐風性能を数値化したま

この日は、瓦屋根標準設計・施工ガイドラインの例示工法で定められた基準風速最大の秒速四十六メートルが二種類の防災瓦で試され、割れやズレの有無を確認しました。



▲瓦引き上げ性能試験機による試験

## 卒業生へ直筆の色紙をプレゼント

倭文小学校

倭文小学校を卒業する児童へ、卒業記念にと同校の柏木茂春校長から直筆の墨絵（梅の絵）と「感謝」のメッセージの入った色紙が贈られました。柏木校長も3月末で定年退職を迎えることもあり、同校へ15号サイズの絵画と額縁（61cm×67cm）も寄贈されました。

墨絵と色紙は、卒業式前日の3月22日、校長室で6年生7人に手渡されました。柏木校長は「卒業してもふるさとを愛し、大切に大人の育ってほしい」と話されました。



▲児童に直筆の色紙を手渡す柏木校長

## 茶道裏千家家元から奨励証

児童館クラブの卒業生

児童館茶道クラブを卒業する子どもたちへ、茶道裏千家家元から奨励賞が贈られました。3月16日、指導にあたった城田育代さんから「これからも茶道を通じて思いやりのある心を持ち続けてください」と同クラブを卒業する4人へ手渡しました。6年間指導を受けた尾崎愛海さんは「始めた頃はお菓子を食べるのが好きだったが、今はお茶を立てるのが好きになった」と話していました。

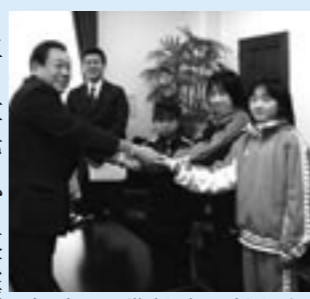


▲奨励証を受け取る児童館茶道クラブの卒業生

## 全日本綱引大会に出場

三月十九日、千葉市で開催された「全日本綱引選手権大会」に県選抜チームのメンバーとして次の方が出場しました（敬称略。「選手」前川光代（津井）西田里美（同）荻崎子（同）済藤都美（同）西岡幸子（松帆）（監督）西田圭一（津井）（コーチ）済藤詔彦（同）

## ジュニアオリンピック水泳大会に出場



▲中田市長から激励を受ける出場選手ら

三月二十七日から東京辰巳国際水泳場で開催された「第二十八回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会」に南あわじ市スイミングスクールに所属する次の方が出場しました（敬称略）。山口英輝（八木小）田原裕奈（神代小）吉田真由（洲

## 体育功労者に表彰

本市）打越雅美（洲本市）

◆南あわじ市体育指導委員会に中ブロック体育指導委員連絡協議会表彰

南あわじ市体育指導委員会（阿部茂幸会長四十一人）は、相撲とビーチバレーの団体開催地の協力や市内スポーツ行事への積極的なスタッフ派遣などが認められたものです。

◆山田智子さんに近畿ブロック体育指導委員表彰



▲山田さん

山田さん（沼島）は、昭和六十三年から体育指導委員を務められています。地域女性へのソフトボールへの参加を促し、高齢者にグラウンドゴルフの導入に力を注がれています。

◆秦尚志さんに県体育協会体育功労賞



▲秦さん

秦さん（榎列）は、昭和三十三年から三原町の体育協会役員、昭和六十年から平成四年まで同会副会長、平成五年から平成十七年まで同会長を務められました。